

■堀利熙 幕臣。箱館奉行時の開明的政策で初代外国奉行，外交問題の処理に当たるも老中安藤信正と対立し，自刃。
ほりとしひろ
水野忠成老中1818＝ 堀利堅（高2500石）の四男に生まれた。_母は林述斎の娘である。

日本外史・・1827＝ 9歳：

天保大飢饉始1833＝15歳：兄が死去して総領となり，

・・・・・1836＝18歳：
大塩平八郎乱1837＝19歳：

天保改革始・1841＝23歳：部屋住で小性組に番入りし，

順天堂始・・1843＝25歳：_学問吟味に乙科及第した。

阿部正弘首座1845＝27歳：

万次郎帰国・1852＝34歳：_徒頭となり，
ペリー来航・1853＝35歳：*＜ペリー来航＞の直前に，目付に抜擢されて海防掛となった。
開国開港・・1854＝36歳：*蝦夷地掛として同地に出張，そのまま箱館奉行に転じ，任地での開明政策が知られ，

五ヶ国条約・1858＝40歳：*新設の外国奉行を兼帯し，
安政の大獄・1859＝41歳：_神奈川奉行も兼ねて，修好通商条約の締結や関係業務の処理にあたった。
桜田門外変・1860＝42歳：*プロシア使節と商議して条約案をまとめたが，これと対朝廷策との関連をめぐって老中安藤信正と意見対立を生じ，自刃した。攘夷派は遺書を偽作して老中の廃帝陰謀への諫死であると宣伝した。